



# 河内小だよ



令和4年2月1日(火)

三次市立河内小学校 校長 江崎 繁

## 結果をおそれず“挑戦”しよう！

今シーズンは寒波の影響でとても寒い日が続き、本格的な冬となっています。また、新型コロナ新規感染者が県内で増加し、本校の子どもたちの生活圏にも迫ってきました。そんな中、子どもたちはしっかり感染症対策をして元気に学校に通ってくれています。保護者の皆様には、感染症予防に係りいろいろとご心配をいただき感謝申し上げます。

さて、今、ビジネスシーンにおける人材育成で重視されている資質・能力として「自己効力感」があります。「自己効力感」とは「ある状況下で結果を出すために適切な行動を選択し、遂行するための能力を自らが持っているかどうか認知する力」です。つまり、人が「自分はがんばればできる」と考え前向きに行動するためのきっかけとなる重要な資質・能力であると言われています。たとえば・・・

- 「自己効力感」が高い人・・・自分なら達成できる！自分ならできるかもしれない！などポジティブな感覚を持って行動を起こす。
- 「自己効力感」が低い人・・・きっと失敗するだろう。自分ではうまくできない。と考え、行動を起こすどころかやる気すら起きないといった状況になる。

「自己効力感」が高いとポジティブな感覚で行動を起こします。そのため、良い結果を生み出すことが多いといわれています。まだまだ聞き慣れない言葉ですが、簡単に言えば、

**結果を恐れずに挑戦する力 = 自己効力感**

です。なわとびを例にとってみます。友だちのなわとびの技の様子を見て、自分もできるようになりたいと思います。

- 自己効力感の低い状態・・・できそうにない(失敗したくない)ので、この辺でやめておくか。
- 自己効力感の高い状態・・・「絶対にできるようになりたい！」という強い思いで練習する。

子どもは「できるようになりたい」とみな思っています。その意味で「自己効力感」の芽はどの子も生まれた時に持ち合わせています。この「自己効力感」を大きく育てることが、子どもの積極性を伸ばし、いろいろなことに挑戦して幸せになるための重要な要素と言われています。

では、「自己効力感」を高めるために「私たち大人がすべきことはなに？」ということですが、大まかに言えば『結果よりもプロセスを重視する』ということです。つまり、成功しても失敗しても「プロセスを評価する」ことで「自己効力感」は高まります。身近な例で例えると・・・テストで100点をとりました。「OO、すごいね。」「頭いいね。」は才能をほめるNGワード(自己効力感の視点では)。「自己効力感」を高めるプロセス評価だと「算数が好きで、よく勉強してたもんね。」「あきらめずコツコツががんばったからだね。」「あなたの努力をちゃんと見ていたよ。」と努力することが素晴らしいのだというメッセージを送ります。メッセージを受け取った子は、「次もまたがんばろう」という挑戦する気持ちや、「次もきっとがんばることができると自信を持つこともできます。結果をほめることも努力の成果ですのももちろん必要ですが、「がんばったから、努力したから、挑戦したからできたのだ！」ということを価値付けることが大切だと言われています。

本校は19名という小規模校であるため、中学校からの大きな集団の中で、自信を持って自分のよさを出し、本校で身に付けた力を堂々と発揮することができる力を付けることが大切であると思っています。子どもたちの努力、プロセスをしっかり見てあげて評価をし、「自己効力感」の高い子どもを育てていきたいと思えます。ご家庭でも実践していただければ幸いです。



## 学習の成果を発揮！ ～三次市学力到達度検査～

1月13日・14日に「三次市学力到達度検査」が実施されました。今年度学習した内容がどれだけ定着したかを確認、課題のあるところは今年度の内に改善するための検査です。河内小学校では、11月よりチャレンジタイムなどを活用してプリントによる復習や検査に向けた課題等の取組を計画的に行ってきました。この日に向けて、子どもたちは1年間の総復習をがんばり、本番では時間いっぱい一生懸命に取り組んでいました。もちろん結果にもこだわりたいですが、この日まで努力したこと、本番の検査で真剣に取り組んだことは、間違いなく子どもたちの力になっています。がんばった子どもたちを誇らしく感じました。

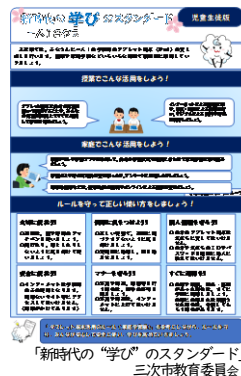


## 学びを止めない！ ～オンラインで学校と家庭をつないで～

年明けからのコロナ禍により、学校における臨時休業措置、または同居家族の方の風邪症状等で、やむを得ず学校に登校できない児童が出てくるのが予想されます。そのため「子どもの学びを止めない」ための対応として、本校では、家庭で過ごすこととなった児童の学習の助けとなる「三次市学習用タブレット」の持ち帰りを実施しています。「三次市学習用タブレット」で家庭とつながることにより、オンラインで授業を受けたり、連絡事項を直接児童に伝えることができたりします。早速、家庭や放課後子ども教室にいる子どもたちと担任が課題のやり取りをしたり、授業動画を配信したりしています。家庭でのタブレット使用にはルールがありますので「タブレット持ち帰りのルール」についても児童に説明を行っております。ご家庭におかれましては、引き続き大変ご負担をおかけいたしますが、何とぞご協力の程お願い申し上げます。



「三次市学習用タブレット」の持ち帰りを実施しています。「三次市学習用タブレット」で家庭とつながることにより、オンラインで授業を受けたり、連絡事項を直接児童に伝えることができたりします。



## 一字一字心を込めて ～“書き初め”をしました～

1・2年生の書写の時間に、硬筆で「書き初め」をしました。教科書の文字を選んでいねいに短冊用紙に書いたそうです。どの子も整った美しい字で書くことができました。また、サングリーンでは「第20回サングリーン書道展」が開催され、本校から応募した児童の作品は、たくさん賞をいただいております（2月3日まで）。タブレット等、ICT教育の推進で、文字を書く機会が減っていく傾向ですが、書写は「書道」ともいうように、姿勢正しく、落ち着いて文字と向き合うことができるとても貴重な時間になっています。一字一字心を込めて・・・。



## ジャミラ先生に教えていただいた日本のこと。

今年度より、ジャミラ先生にALTとして外国語を教えていただいています。とても勉強熱心な先生で、空き時間には教材づくりの他に「日本の言葉・文字」の勉強をされています。先日、「こんな言葉を知っていますか？」と聞かれ、漢字4文字の熟語を見せていただきました。

『優游涵泳（ゆうゆうかんえい）』意味を調べてみると「ゆったりとした気持ちで学問や芸術を深く味わうこと」です。いい言葉ですね。恥ずかしながら知りませんでした。（日本人なのに・・・）

どうしてこの漢字を教えてくださいかということ、始業式で子どもに話した今年の漢字「優」を使った熟語をいろいろ調べてくださったようです。ジャミラ先生の自分の国とは違う文化を前向きに“学ぶ姿勢”お手本にしたいです。



## 寒い季節に“読書”のすすめ

「宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている。

そして、何よりも、宝を毎日味わうことができるのだ」（ウォルト・ディズニー）

自分自身、生涯夢を追いかけて、たっぴりの夢を人々に与え続けたウォルト・ディズニーの言葉です。宝さがしに行かなくて、本の中に宝物が埋まっているよ、というメッセージ。ウォルト・ディズニーは『宝島』（ステューブソン）、『指輪物語』（トルキン）、『トム・ソーヤーの冒険』（マーク・トウェイン）、『シンドバッドの冒険』（ルドミラ・ゼーマン）など、たくさんの本を読み、本の世界に浸り、家にいながらイメージの世界を楽しんでいました。それが、今のディズニーランドやディズニー映画につながっているそうです。



コロナ禍で外出もままならず、家で過ごす時間も多くなっています。また、寒い季節で外遊びができない日も多くあります。学校でも、これを好機ととらえ、子どもたちが図書室に行って本をたくさん読んでほしいと思い取組を行っています。今は、朝から図書室に暖房入れておくなどの読書環境を整えています。また、小学生が学校で本を読まないのは「図書室に読みたい本がないから」が理由の1つだと言われています。今年も多くの新書が図書室に入りました。さらに今年度から、「読書貯金」と「読書表彰」の取組を図書・放送委員さんが行って、しっかり読書した子にとっては励みとなっています。

テレビやゲームがあり、パソコンで簡単に情報が手に入るので「読書」することが少なくなるのも不思議ではありませんが、これからの社会を生きる子どもたちは「読み解く力」「根拠をもとに判断する力」「豊富な言語の力」が必要な時代となります。しっかり読書に親しみ、豊かな知識と技能、また感性を養ってほしいと願っています。



今日の読書こそ、真の学問である。（吉田松陰：幕末の長州藩士）

## 学校・保護者・地域 … それぞれでできること ～☆kira☆びと こうち～

これまでお伝えしてきたように、三次中学校区はコミュニティ・スクールとなります。4月より「地域とともにある学校づくり」と「学校を核にした地域づくり」の両面から、子どもたちの教育の充実に向けて取り組んで参ります。この度、地域有志のみなさんが「河内もり上げ隊」として『☆kira☆びと こうち（ネーミングは子どもたちの応募により決定しました）』がスタートしました。先日、保護者の方や河内に縁のある子育て世代の皆さん、学校職員、まちづくり連合会の方などにお集まりいただき、今後の河内小学校について熟議を行いました。保護者・地域の皆さんの学校・地域に対する思いを聞かせていただきました。学校・保護者・地域、それぞれにできることを考え、実践し“魅力ある学校”づくりを目指します。



### 職員室に“鬼”がやってきました！

2月3日は「節分」です。節分を控えたある日、突然、職員室に3人（匹？）の“鬼”がやってきました。その正体は1・2年生3人。驚きながら、どんな鬼か1・2年生に聞いてみると「算数きらい鬼」「けんかする鬼」「キウイきらい鬼」などだそうです。どの鬼も個性的で、「怖い」というよりも「かわいい」鬼でした。2月3日には、自分の弱い心の鬼を追い出して、ますます成長して行ってほしいです。



### ～中国新聞に掲載していただきました！～

【中国新聞 文化ひろば「こども俳句」】

○せりなずな 春の七草 おぼえたぞ（2年 藤越 琥太郎くん） 1 / 13版

### ～ 2月の予定 ～

1日（火）	スクールカウンセラー来校日	22日（火）	スクールカウンセラー来校日
2日（水）	ICT支援員（リモート授業）	28日（月）	授業参観（道徳）
10日（木）	新1年生入学説明会		学級懇談会 学校説明会
15日（火）	PTA街頭指導		学校評議員・関係者評価委員会
16日（水）	「牛乳普及協会」の授業（中止）		児童下校 14:50
17日（木）	読み語り（中止）		PTA 常任・専門委員会 18:30



### 今後の学校行事につきまして・・・（現時点での予定となります）

広島県の「まん延防止等重点措置」が2月20日まで延長となりました。学校においては、さらなる感染対策が求められています。ついては、今後の行事について見直しを迫られる中、以下の行事について日程を変更して開催いたします。今後の感染拡大状況により再度の変更となる場合がありますが、何とぞ、ご理解・ご協力の程、お願い申し上げます。

○2月18日（金）に予定しておりました「授業参観（道徳）、学級懇談、学校説明会、学校評議員・関係者評価委員会」は、2月28日（月）に変更いたします。（変更に伴い18日は通常日課となります。15時50分下校）

○3月4日（金）に予定しておりました「6年生を送る会・スプリングライブ」は、3月11日（金）に変更いたします。

※開催方法につきましては、改めて「保護者文書」を出させていただきますのでご確認ください。勤務の関係で既にお休みを取得されていた保護者の方には大変ご迷惑をおかけし申し訳ありません。なにとぞご理解の程、お願い申し上げます。